



「ナイトミュージアム KANSAI」の実施について ～美術館・博物館が経済界と連携し、新たな夜の価値を創出～

京都市、京都府、滋賀県、神戸市では、美術館・博物館相互の連携やネットワークの形成により、夜の時間帯における新たな価値創出や文化と経済の好循環の実現を図るため、経済界の関係機関とともに、美術館・博物館の夜間活用を、日本のナイトタイムエコノミーの中核コンテンツとして確立することを目指しています。

令和7年度は、新たに神戸市立博物館も参画し、京都市京セラ美術館、京都府京都文化博物館、滋賀県立美術館とともに、魅力的な夜間活用の取組を実施するほか、美術館・博物館と経済界との連携という独自性を活かした新たなビジネスモデルの構築にも取り組みます。

是非この機会に、美術館・博物館が生み出す新たな魅力をお楽しみください。

1 各館の主な夜間活用の取組（企画内容の詳細については、各館のHPを参照ください）

京都市京セラ美術館、京都府京都文化博物館、滋賀県立美術館、神戸市立博物館の各館において、夜間にお楽しみいただける取組を実施します。

(1) 京都市京セラ美術館

「京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）」の開催に合わせたコンテンツ産業との連携企画として、9月20日（土）、21日（日）に夜の美術館での特別なコスプレイベントを開催します。その他にも、ビジネスパーソン向けの連続アート講座（11月以降に3回程度実施予定）などのイベントをご用意しています。

(2) 京都府京都文化博物館

「青の祓魔師（エクソシスト）展」（8月19日～9月15日）と、「特別展 世界遺産 縄文」（10月4日～11月30日）の会期中の金曜日は、19時30分まで開館します（総合展示は、開館日は19時30分まで開館）。

(3) 滋賀県立美術館

8月23日（土）に、一日を通して、年齢や障害の有無などにかかわらず皆さんにご参加いただけるプログラムや企業ブースなどを含んだイベント「みんなで作る！みんなで楽しむ！美術館の夏祭り！」を開催します。当日は20時まで夜間開館し、美術館の正面入口前で屋台を展開したり、みんなで江州音頭を踊ったりします。また、10月～11月に計3回、ビジネスパーソン向け夜の鑑賞プログラムを実施します。

(4) 神戸市立博物館

毎週金曜日と土曜日には 20 時まで開館し、色とりどりに変わるライトアップで神戸の夜を演出します。

また、毎月原則第 4 金曜日のナイトタイム時に、参加費無料のワークショップ、音楽やダンス、ファッションショーを楽しんでいただける特別ライブを開催、特別展開催期間中の毎週土曜日 17 時からは学芸員による展示解説会を実施するなど、まちの回遊性向上やにぎわいづくりに取り組みます。

2 経済界との連携による新たなビジネスモデル

美術館・博物館と経済界との連携という本実行委員会の独自性を活かした新たなビジネスモデルの構築に取り組みます。

(1) ビジネスパーソン向け 展覧会の内容検討会（京都府京都文化博物館）

ビジネスパーソンに博物館の展覧会について学んでもらい、その知恵と工夫を展覧会の企画に取り入れます。具体的には文化財を 3D デジタルデータ化し、その活用について共に検討し、令和 8 年度の展覧会に反映させるほか、館蔵資料の活用方法等についてワークショップを開催し、新たな展覧会の企画につなげます。

(2) ビジネスパーソン向け 夜の鑑賞プログラム（滋賀県立美術館）

ビジネスパーソン向けに、対話鑑賞（一つの作品をファシリテーターと一緒に、対話をしながら行う鑑賞）やディレクター（館長）のレクチャー、参加者同士や美術館のスタッフとの交流会等を組み合わせた夜の鑑賞プログラムを実施します（プログラムの組み合わせは実施回により異なります）。

(3) 伝統産業ワークショップ（京都市京セラ美術館）

伝統産業業界との連携により、職人から伝統産業品のものづくりを教わる、体験ワークショップを 11 月に実施します。

3 問合せ先

(1) 本件全体に関すること

公益社団法人関西経済連合会：産業部 吉田 TEL：06-6441-0106

(2) 各館の取組に関すること

京都市京セラ美術館：奥本・田中 TEL：075-771-4107

京都府京都文化博物館：総務課 西崎・橋本 TEL：075-222-0888

滋賀県立美術館：学芸課（広報担当）小松 TEL：077-543-2113

神戸市立博物館：事業課 村上・学芸課 川野 TEL：078-391-0035

<参考>

主催団体：BIZ+MUSEUM KANSAI 実行委員会（旧ナイトミュージアム KANSAI 実行委員会）
の創設について

- 令和6年度にスタートした「ナイトミュージアム KANSAI 実行委員会」では、これまで各館のノウハウや、企画の実施結果等を共有する連絡会議を定期的を開催してきました。
- そうした中、更なるネットワークの強化や、経済界をはじめとする異業種との連携強化についての機運が高まり、本実行委員会において、夜間活用によるナイトタイムエコノミーに限定されない新たなビジネスモデルの確立に取り組むことについて合意しました。
- それを受け、令和7年度からは、実行委員会の名称を「BIZ+MUSEUM KANSAI 実行委員会」に変更して、活動を継続しています。

構成（令和7年8月現在）

京都市京セラ美術館、京都府京都文化博物館、滋賀県立美術館、
神戸市立博物館、公益社団法人関西経済連合会、関西電力株式会社、
西日本旅客鉄道株式会社、株式会社 J T B